

# 品質マネジメント

より詳しい  
情報は、こちらを  
ご覧ください。▶



## 基本的な考え方

NSKグループは、品質をコアバリューの一つと位置づけ、製品やサービス、提供する情報を含め全ての品質を業界でNo.1にすること、即ち「Total Quality No.1」を実現することで、世界中のお客様に選ばれるモノづくりを目指します。

品質保証ビジョン2026(「お客様第一」の「100%良品」)に向け、「NSK品質保証の三本柱」に基づいた活動に取り組んでいます。

### NSK品質保証の三本柱



1.NPDS(NSK Product Development System) 活動の推進	お客様の新規案件を、迅速、確実に安定生産に結びつけるため、品質をプロセスでつくりこむための活動を進めます
2.NQ1(NSK Quality No.1)活動の推進	不良「ゼロ」の安定生産を目指した活動を進めます
3.人づくり	品質づくりを支える人材育成を進めます

## 品質マネジメントシステム

NSKグループでは、開発・設計、製造などを対象に品質マネジメントシステムの国際規格認証(ISO9001、IATF16949)をグローバル全拠点にて取得しています。また、定期的実施する第三者機関の監査や内部監査により、品質マネジメントシステムの有効性を確認しており、問題が見つかった場合は適切な是正措置を行い、取り組みのレベルアップを継続的に図っています。

## サプライヤー品質を高める取り組み

高品質な製品には、高品質な部品や材料、油脂類などが必要不可欠です。NSKグループでは、サプライヤーの皆様との信頼関係をベースに品質を高める取り組みを進めています。

品質保証本部が主体となり、サプライヤーの皆様との品質状況をシステムにて管理し、品質実績を基に毎月、改善課題の立案およびサプライヤー製品受け入れ工場と共同した品質向上活動に取り組んでいきます。

サプライヤーの皆様が、品質に対して組織的に対応できるか確認すべく、品質マネジメント体制監査を実施します。新規サプライヤーだけでなく、既存サプライヤーについても監査実績および品質実績から毎年監査計画を立案・実施しています。

### 取り組み事例

- グローバル品質監査室による活動方針説明会
- サプライヤー品質の現状把握と見える化および品質問題の月次報告
- 重点サプライヤーに対する、品質本部トップによる品質改善活動を実施
- サプライヤー品質問題管理システムの開発
- 最終工程委託サプライヤーの現状把握

## 品質教育

NSKグループでは、継続的な意識と知識の向上を目指し、新入社員から管理職まで役職に応じた、階層別品質教育を行っています。また、毎年全従業員に向けたeラーニング、生産工場では製品に触れながら行う品質道場教育を実施しています。

### 品質道場<sup>※</sup>教育

品質教育は、“意識→知識→技術・技能”の順で学ぶことが重要と考えています。

人に起因する不良品の発生を撲滅することを目指し、全世界の生産工場52拠点に品質道場を設置しています。品質道場では品質の重要性を説明し、意識を醸成するとともに、実際の製品や不具合品に直接触れることで製品知識および品質知識を得ることができます。NSKでは、生産工場・技術部で業務を行う従業員は一人年2回以上の品質道場教育を受講することを目標に掲げ、活動を進めています。その中で習得したものを自らの仕事とつなげ発揮することで、高品質なモノづくりの現場を支える人材を増やし、Total Quality No.1を実現していきます。

※ 全道場にて師範と師範代を選任し、教育内容の充実・更新、講師の育成や教育計画の策定まで、道場の総合管理を行い運営しています。



品質道場教育：現地